

令和6年度 第1回富山県公私立高等学校連絡会議の開催結果

日 時：令和6年5月20日（月）10:00～11:50

場 所：富山県民会館 704号室

出席者：経営管理部次長（座長）、私学関係者5名、県教育委員会5名、学術振興課長 計12名

（出席者からの主な発言・意見等）

1 令和7年度の募集定員について

（1）南砺平高校における全国募集の実施について

- ・ 今後の生徒数減少を踏まえると、県外募集をするなら早く開始することが望ましい。
- ・ 全国の例をみても、急な病気などに対応するため、地域で身元引受人を確保している。

（2）高岡龍谷高校における通信制課程の認可申請について

- ・ 令和7年度から新たに通信制課程を設置するための計画申請を行った。現在、認可申請に向けて準備中。
- ・ 県西部には通信制課程を有する高校がないため、主に県西部を対象とした狭域での通信制課程を想定している。

2 令和8年度以降の公私比率等について

(1) 公私比率について

- 現在設定している対象外比率を撤廃し、全体を100として公私比率の目安を決めてはどうか。
- 例えば石川県の7：3などに将来的に徐々に移行するような設定があれば良いのではないか。
- シミュレーションがないとわからない。何かしらの数字的な根拠を示してほしい。

(2) 県立高校における2次募集について

- 例年、県立高校の2次募集により入学予定者数が大きく変動しており、私立高校の学級編成、体制構築に苦慮している。
- 中学校での進路指導に基づく本人の意向尊重、及び私学経営への影響に配慮した2次募集のあり方、ルール作りを検討いただきたい。

(3) その他

- 職業科に加え、普通科のPRについても強化が必要。
- 県立高校の募集倍率が低下している。県立高校としてある程度の募集倍率を維持するべきではないか。
- 物価高、人件費高騰が顕著である。公立の教員の教職調整額の拡充と同様の対応をすることは私学では難しい。経営の安定のため、経常費支援の拡充をお願いしたい。
- 今年度も中学校長会から来ていただき、中学校長会としてのお話を伺いたい。
- 公私でいろいろな意見交換ができればよい。